

### 平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	斑尾ジャズ2014
事業主体 (連絡先)	ふるさとのジャズ交流祭実行委員会 (斑尾エルムペンション TEL: 0269-64-3505 FAX: 0269-64-3630)
事業区分	地域協働の推進に関する事業 (6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	6,762,910円

#### 事業内容

8月23日(土)・24日(日)の両日斑尾高原で開催し、参加演奏家302名、観客延べ約2500名と過去最大の大会となった。ビッグバンド9、コンボ16、ゴスペルグループ2で27バンドの参加を得た。「北陸新幹線飯山駅開業記念イベント」とし、開業7ヶ月前のカウントダウンのなか、「信越自然郷」を始め地域の情報をステージの映像と共に「斑尾インターネット放送局」から全国に発信した。終了後も Youtube で観れるようにしている。交流パーティーは約350名の参加者を得て「まだらお山の家」で開催した。今年は日本のサクソ界をリードする本多俊之、彦坂眞一郎他数名のプロ演奏家も参加しジャムセッションは盛り上がった。地元ペンションの準備した料理は人気を博し、「斑尾ジャズ記念オーケストラ」は参加バンドからの精鋭で構成され、その演奏は交流会のクライマックスとなった。「斑尾ジャズ記念賞」を始め各賞が授与された。一方メインステージと平行して、斑尾高原ホテルテラスにてテラスライブを開催し高原の滞在者や通りを往く人々の注目を引いた。近い将来ストリートジャズを取り入れる計画であるが、その試金石としての企画である。今年、事前のPR戦略はweb、TV、新聞、雑誌等を中心に広範に行い、東京はじめ各地から参加者が増加した。東京からは斑尾ジャズ専用バスを出した。来年は、上記サクソ界の第一人者を擁して子供達対象の「サクソ教室」やキャンピングカーのお客様誘致、テント村などを導入して動員観客数を増やしたいと計画之中である。



#### 事業効果

- ① 北陸新幹線飯山駅開業イベントとして新幹線・信越自然郷の情報を事前PR、当日はステージから、会場の飯山市の広域観光ブースから流した。参加者からは新幹線にて斑尾ジャズに参加し地域の観光もしたい希望が多く出ている。地元以外の地域からの参加者が増大してくると予想している。駅からの二次交通についての問い合わせも届いている。
- ② 広範な募集活動の結果、参加演奏家が昨年の209名から300名以上に達した。特にビッグバンド、ゴスペルグループの多人数の団体が11に増加し、参加演奏家数の拡大に貢献した。参加演奏家の参加費で運営経費を賄っているため、参加演奏家の拡大はイベント全体の財政を左右する。参加演奏家は全員宿泊し交流パーティーに参加するので地元経済の活性化に重要な要素である。演奏家の増加は応援団、一般の観客の拡大にも繋がった。東京からの斑尾ジャズ専用バスは30名以上参加者があり、地元ホテルに宿泊した。
- ③ 観客動員は昨年の約1500名から今年は約2500名に拡大し会場は非常に盛り上がった。地元飯山市のみならず中野市、

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

#### 【目標・ねらい】

- ①北陸新幹線開業・信越自然郷のPR
- ②参加演奏家300名確保
- ③観客動員1500名以上
- ④地元住民・ボランティアとの協働

※自己評価【A】

#### 【理由】

最も重要な課題であった参加演奏家と観客の動員数が予定を上回った。その結果、財政が楽になり、運営がよりスムーズになった。参加者の増大は会場の雰囲気にも影響を与え、これまでにない盛り上がりとなった。継続的且つ広範な情報発信、営業活動などが功を奏した。協賛会社の協力も貢献した。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

長野市、妙高市、上越市など広域的な拡がりが見られた。

これらの人々は日帰りであるが、昼食、飲み物購入などを通じて経済的な貢献をしてくれた。会場の盛り上がりには観客の増加が一番重要であることを証明した。

- ④ 参加型のイベントであり、演奏家は勿論、地元や他地域からのボランティアとの協働がベースになっており、例年を上回る参加者の宿泊、交流会の準備、会場設営・撤収、ステージ運営、ブース運営などに於いて、昨年を上回る協力者を確保できた。特に地元宿泊施設のオーナーは例年以上の配宿で潤った。協力宿泊施設は増加傾向にある。ボランティアの数も増加し、運営面でよりスムーズな形が確保できつつある。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 1) 地域経済の活性化に更に貢献するには、参加人数を更に増やし、滞在型の参加者を増やすことを努力する計画である。そのためには、新幹線効果を取り込み、東京圏を中心とする地域から参加する人々を拡大する必要がある。
- 2) 新たな観光資源を創出・進化させるためにイベント自体の内容を上質化する計画である。ストリートジャズの流れを取り入れること、東京からの「ジャズトレイン」を企画する、一流のプレーヤーによるサックス生誕100周年を記念する「100人サックス」のステージ、「サックス教室」等の導入の準備を始めている。
- 3) ジャズ以外のジャンルの音楽を取り入れ多彩な内容とし、より多くの人々が楽しく参加できる企画にしてゆく積もりである。地域の吹奏楽、ゴスペルの団体の参加を計画している。海外からの参加者を募集することも計画している。斑尾高原では、スキーのインバウンド客が10,000泊/シーズンを超えたので音楽のイベントは冬にも開催してスキーとカップリングして行くことを考えている。3年前から小規模なジャズの企画を続けており、大きな規模に成長する可能性がでてきた。
- 4) 今後、「斑尾方式」という演奏者が参加費を負担し、観客無料、運営はボランティアというスタイルをイベントの在り方として世に問うかたちを継続してゆきたい。独立系の市民ジャズを確立せんと持続可能な全国区の文化行事として強固な基盤を構築してゆく計画である。

以上

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある